

授業科目 NO. 413 小児看護学方法論Ⅱ (看護援助演習)

Pediatric Nursing II (Nursing Care Seminar)

授業の形態： 演習

単位数（時間数）： 1 単位（30 時間）

開講年次・学期： 3 年次・前期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 小児看護学、健康課題を持つ子どもに必要な看護技術、
周産期・急性期・慢性期の子どもの看護

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 修 目 標

1) 一般目標（GIO）

- (1) 小児看護学概論、小児看護学方法論Ⅰの既習内容をふまえ、健康課題を持つ子どもと家族への看護に必要な知識・技術を修得する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 様々な状況に置かれている子どもと家族に対して必要な看護支援を説明できる。(①②)
- (2) 小児特有の疾患と看護の特徴について学び、事例展開をアセスメントできる。(②)
- (3) 子どもの心肺蘇生法、検査処置の看護技術・生活援助技術を習得し実施できる。(②)
- (4) 健康課題のある子どもとその家族の情報を収集・分析し、関連図を描き、看護問題の抽出ができる。(①②③)
- (5) 健康回復に必要な看護援助方法についてアセスメントできる。(①②)

3 学 修 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	60%
授業態度	0%
小テスト	0%
演習課題	10%
GW の個人提出課題	10%
GW での他者評価	10%
GW の成果物（グループメンバー共通）	10%
その他	0%
合計	100%

（特記事項）

定期試験については 100 点満点で 60 点以上の成績を取ることで総合評価の対象とする。

5 教育担当者

科目責任者：吉川 由希子

教 授 吉川 由希子（小児看護学）
 助 教 小村 未来（小児看護学）
 助 教 横山 裕介（小児看護学）
 看 護 師 山谷 美里（看護部 遺伝看護専門看護師）
 課 長 石丸 章宏（クリニカル・シミュレーション・センター）
 課長代理 石浦 夕奈（クリニカル・シミュレーション・センター）
 主 任 山下 敬吾（クリニカル・シミュレーション・センター）

6 教育担当者の実務経験

担当教員は全員、看護師としての実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 奈良間美保他（著）：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学[1]、第 14 版、2020、医学書院
- 2) 奈良間美保他（著）：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学[2]、第 14 版、2020、医学書院

8 推薦参考書

- 1) 浅野 みどり（著）：根拠と事故防止からみた 小児看護技術 第 2 版、医学書院、2016
- 2) 山元 恵子（著）：写真でわかる小児看護技術 アドバンス、インターメディカ、2017
- 3) 浅野みどり編：発達段階からみた小児看護過程 第 3 版、医学書院、2017
- 4) 松森 直美（編集）、蝦名 美智子（編集）：小児看護ケアモデル実践集—看護師が行う子ども

目線のプレパレーション、へるす出版、2012

- 5) 細野 亜古（著、編集）：こどものがんと治療：患者説明にそのまま使える 不安なパパ・ママにイラストでやさしく解説、メディカ出版、2016
- 6) 立石 実（著）：こどもの心臓病と手術—不安なパパ・ママにイラストでやさしく解説、メディカ出版、2011

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 90 分程度必要である。

- 1) 看護技術（BLS と清潔の援助技術）では指定範囲の事前課題について教科書やナーシングスキルの視聴で予習（技術を含む）すること。
- 2) グループ課題は 1 回目の講義の時に学習する課題が提示されるので、グループダイナミクスを活かして、学習を進めること。発表は課題の該当する単元の時に行う。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

提出された課題についてはコメントして返却する。

11 履修上の注意事項

- 1) 初回ガイダンス時に配布される資料を熟読して授業に臨むこと。
- 2) 演習には主体的に参加すること。
- 3) 演習課題については事前に提示するテキストや資料を用いて自己学習し、配布プリントなどにまとめておくこと。演習後は学習内容の確認と振り返りを行い、レポートとして提出すること。
- 4) 技術演習はクリニカル・シミュレーション・センターと看護学部棟にて行う。実習室使用時は白衣の着用を徹底すること。
- 5) テキスト・資料は毎回の授業に必ず持参すること。

12 オフィスアワー等

質問・問い合わせ等は随時受けつけますが、事前に連絡をしてください。

吉川：y-yukiko@kanazawa-med.ac.jp

小村：komura-m@kanazawa-med.ac.jp

横山：kuyonsa@kanazawa-med.ac.jp

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月03日（金）	1	講義	コースガイドダンス・演習ガイドダンス 事例紹介と事例展開とGWの進め方 小児における看護過程		小児看護学	吉川教授,小村助教, 横山助教
前	2	4月10日（金）	1	講義	検査処置を受ける子どもの看護 講義	演習課題	小児看護学	吉川教授,小村助教, 横山助教
前	3	4月10日（金）	2	演習	検査処置を受ける子どもの看護～吸入・内服・点滴の観察		小児看護学	吉川教授,小村助教, 横山助教
前	4	4月17日（金）	1	講義	先天性心疾患の子どもと家族の看護 呼吸器疾患に罹患した子どもと家族の看護 アレルギー疾患に罹患した子どもと家族の看護 小児の看護過程の展開	事例の疾患関連図 （個別課題） 4月15日13時提出締切	小児看護学	吉川教授,小村助教, 横山助教
前	5	4月17日（金）	2	講義/演習			小児看護学	吉川教授,小村助教, 横山助教
前	6	4月24日（金）	1	講義	川崎病に罹患した子どもと家族の看護 血液疾患に罹患した子どもと家族の看護 消化器疾患（外科疾患を含む）に罹患した子どもと家族の看護	事例の現在の状況を示した 関連図提出（個別課題） 4月27日13時提出締切	小児看護学	吉川教授,小村助教, 横山助教
前	7	4月24日（金）	2	講義			小児看護学	吉川教授,小村助教, 横山助教
前	8	5月01日（金）	1	講義/演習	前半グループ 感染対策が必要な疾患に罹患した子どもと 家族の看護 後半グループ BLS/清潔の援助（ベッド上での洗髪・陰部 洗浄/おむつ交換）	演習課題	小児看護学,CSC	吉川教授,小村助教, 横山助教,石丸課長,石 浦課長代理,山下主任
前	9	5月01日（金）	2	講義/演習	前半グループ 安静が必要な治療を受ける子どもと家族の 疾患の理解と看護 後半グループ 事例のグループワーク BLS/清潔の援助（ベッド上での洗髪・陰部 洗浄/おむつ交換）	演習課題	小児看護学,CSC	吉川教授,小村助教, 横山助教,石丸課長,石 浦課長代理,山下主任
前	10	5月08日（金）	1	講義/演習	前半グループ BLS/清潔の援助（ベッド上での洗髪・陰部 洗浄/おむつ交換） 後半グループ 感染対策が必要な疾患に罹患した子どもと 家族の看護	演習課題	小児看護学,CSC	吉川教授,小村助教, 横山助教,石丸課長,石 浦課長代理,山下主任
前	11	5月08日（金）	2	講義/演習	前半グループ BLS/清潔の援助（ベッド上での洗髪・陰部 洗浄/おむつ交換） 後半グループ 安静が必要な治療を受ける子どもと家族の 疾患の理解と看護 事例のグループワーク	演習課題	小児看護学,CSC	吉川教授,小村助教, 横山助教,石丸課長,石 浦課長代理,山下主任
前	12	5月15日（金）	1	講義	遺伝性疾患の子どもと家族の看護 周産期の子どもと家族の看護 発達障害のある子どもと家族の看護		小児看護学	吉川教授, 山谷看護師
前	13	5月15日（金）	2	講義			小児看護学	吉川教授
前	14	5月29日（金）	1	演習	事例の発表①	GW事例の発表資料 5月25日13時提出締切	小児看護学	吉川教授,小村助教, 横山助教
前	15	5月29日（金）	2	演習	事例の発表②	GW事例の個人ファイル 5月29日18時提出締切	小児看護学	吉川教授,小村助教, 横山助教
前		6月03日（水）	2	試験	定期試験		小児看護学	吉川教授